

安全な場所に神社があるって本当?

調査対象地の概要

茨城県 筑西市

人口: 約10万人

面積: 205.3km²

地形: 西の端から鬼怒川、大谷川、五行川、小貝川、桜川と、いずれも一級河川が流れている。標高は20~60mと平坦な地形。



内外大神宮
筑西市としてはめずらしい山地に位置する。806年社殿造営と歴史が長い神社



稲荷神社
台地・段丘だが、田んぼがすぐそばにある。この神社一帯の字(ごま)が稲荷宿となっている。



城山八幡神社
台地・段丘にある神社。城があった高台に作られた。洪水時の避難場所指定されている。下館小学校のすぐ隣。



国土地理院のHPのベクトルタイル提供実験から地点をずらしながら筑西市全域をA4の紙20枚に印刷しました。

動機

私は、以前神社があるエリアは自然災害に強いという話を聞いたことがあった。昔の人の知恵で大事な神様の社は自然と地盤の良いエリアに鎮座させているのではないかと。興味が出て調べてみたいと思った。

目的

川や田んぼの多い過去に大規模水害にも見舞われている筑西市ではどのような神社の分布になっているのか、そして神社のあるエリアは自然災害に強いエリアという説が川の多い筑西市でも成り立つのかを調べる。

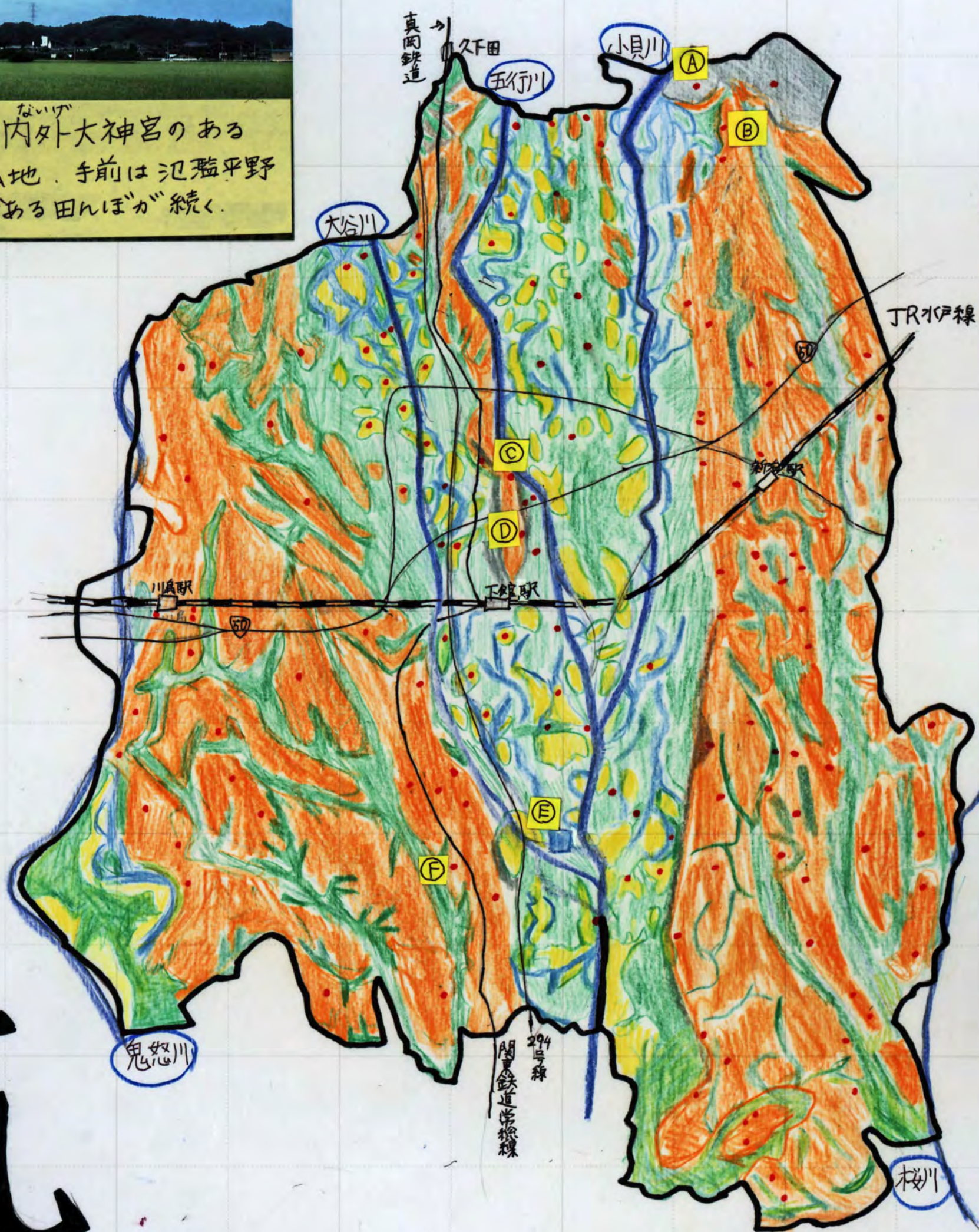
調査方法

国土地理院の地理院地図、ベクトルタイル提供実験の地形分類を確認し、神社が存在するエリアの地形分類をすべて調べる。神社庁のHPで筑西市に存在する神社を確認すると129社だったが、地図上では144社なので144社調べる。また筑西市のハザードマップと地形分類の地図を照らし合わせて関係性も調べる。

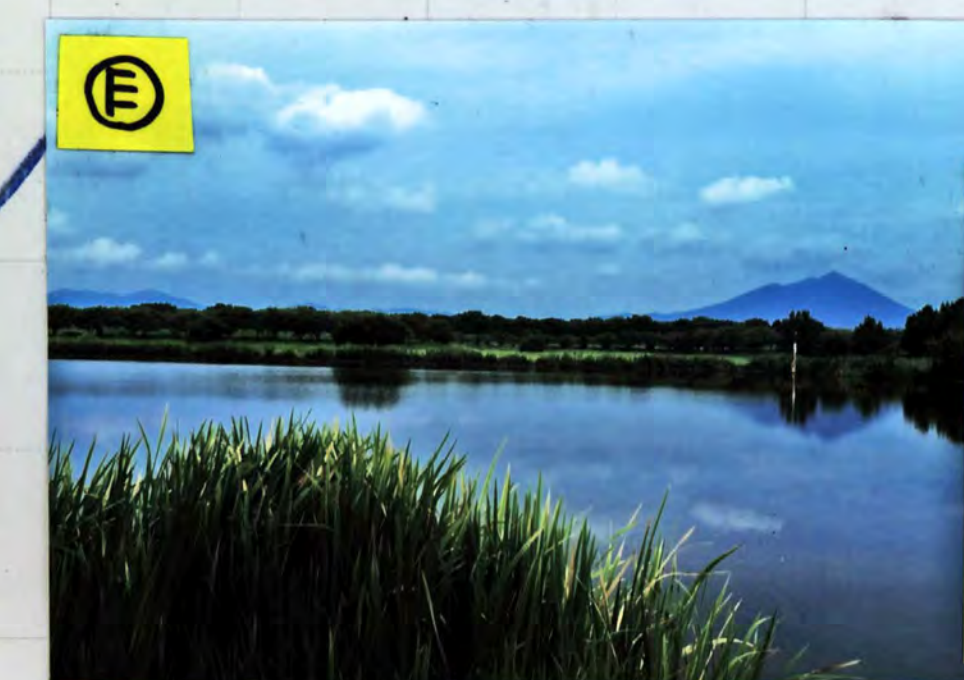
結果

配色	地形分類	土地の特長	自然災害リスク
■	山地	尾根や谷からなる土地や、比較的斜面の急な土地。	崖崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害。
■	台地・段丘	周囲より階段状に高くなった平坦な土地。	地震の際の揺れが大きくなりやすい。液状化のリスクが大きい。
■	自然堤防	現在や昔の河川に沿って分布し、周囲より0.5~数m高い土地。	大規模な洪水では浸水することがある。液状化のリスクがある。
■	氾濫平野	起伏が小さく、低く平坦な土地。	地震の際にやや揺れやすい。河川の氾濫、液状化のリスクがある。
■	旧河道	かつて河川の流路だった場所で、周囲よりもわずかに低い土地。	地震の際の揺れが大きくなりやすい。液状化のリスクが大きい。

筑西市



羽黒神社
1481年創建。下館城城主水谷勝俊による。城と同じ高台に位置する。階段の上に社がある。



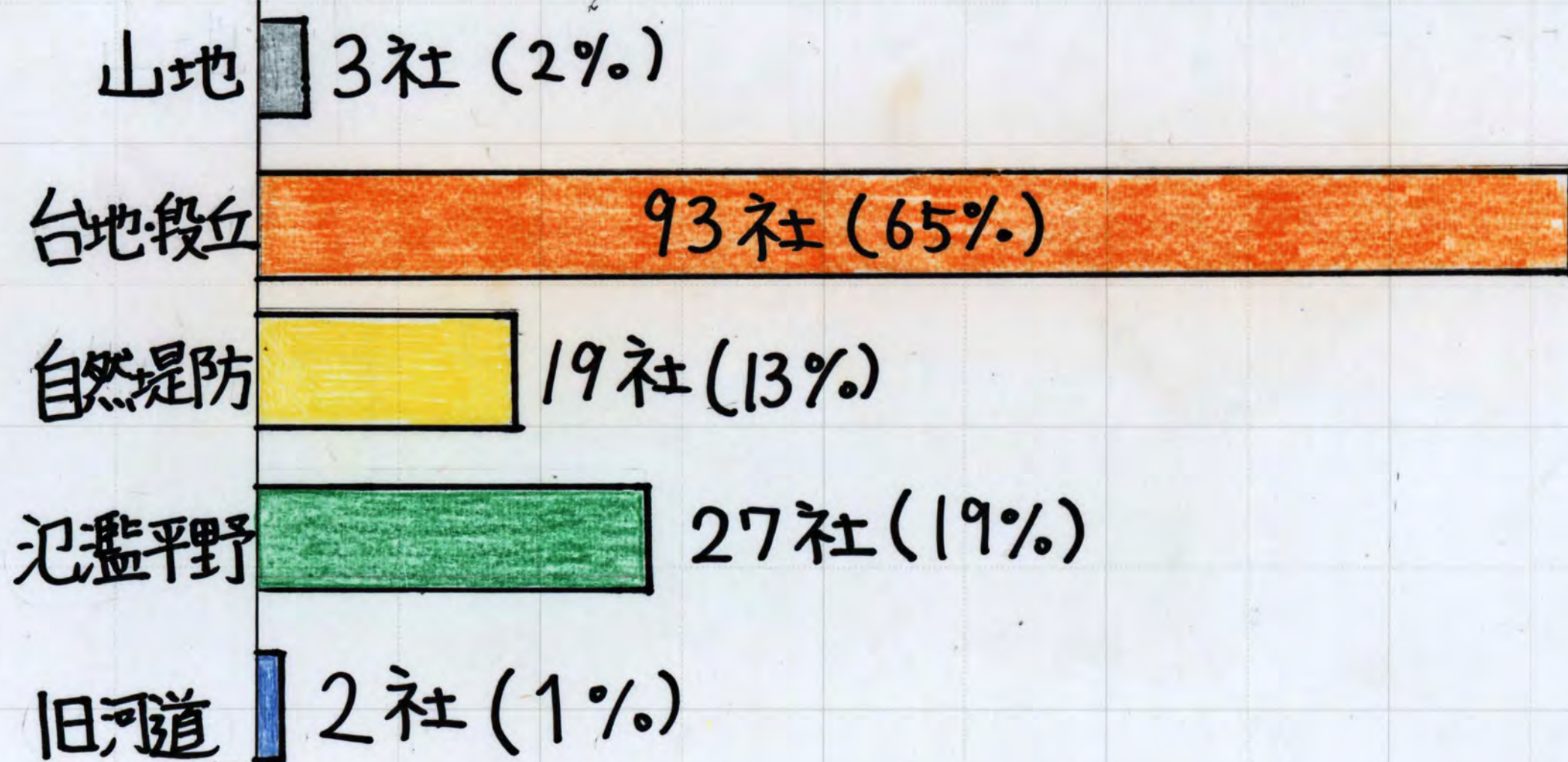
母子島 遊水地
水害の大きかったこの地域を遊水地として造成。現在もこの地区一帯標高が低く、市内でも低い20m。



木戸神社
段丘の地帯。市内でも高台の場所。洪水時の避難場所に指定されている。



筑西市内の神社144社の地形分類別分布



考察

筑西市洪水ハザードマップで、浸水しやすい地域は、地形分類の地図での旧河道や氾濫平野の地域が該当し、浸水しにくい地域は地形分類での台地・段丘や自然堤防の一部が該当することが分かった。

洪水の歴史を振り返ると、筑西市の鬼怒川流域は近年だけでも、1938年9月、2002年7月、2015年9月と大規模洪水が起きている。また小貝川流域でいえば、過去何度も洪水は起きているが、中でも1986年8月に台風により、小貝川と大谷川に挟まれたところにあった、母小島、飯田、椿宮、小釜、一丁田の五つの集落は完全に水没した。この災害の後、これらの集落が集団移転し、この跡地に母子島遊水地がつけられた。

→ このように、水害のリスクの多い河川(氾濫平野)でなおかつ河川付近の神社の分布は、わずかに鬼怒川1社、大谷川2社、五行川3社、小貝川3社だった。筑西市内の神社144社の地形分類別分布を調べた結果、洪水に対して比較的 안전한自然堤防及び河川氾濫のリスクのない台地・段丘を合わせると78%を占める。たとえ川に近い場合でも、自然災害リスクが少ない台地・段丘に多くの神社が建てられていることも分かった。すべての自然災害のリスクについては検討せずあくまでも水害を中心に調べた結果ではあるが、筑西市においては、神社はある程度災害リスクが少ない安全な場所に建てられている傾向にあると言える。

参考文献

筑西市役所ホームページ(筑西市の位置と地勢、人口、河川情報) <https://www.city.chikusei.lg.jp/> 最終閲覧日 8月14日

ふくろう不動産(地震以外の災害対策 神社があるエリアは自然災害に強いという説は本当ですか?) <https://296fd.co.jp> 最終閲覧日 2022年8月5日

茨城県神社庁 Ibaraki-ken-jinjacho.or.jp 最終閲覧日 2022年8月14日

下館河川事務所 国土交通省関東地方整備局(鬼怒川・小貝川の過去の洪水の記録と治水PDF) <https://www.ktr.mlit.go.jp> 最終閲覧日 2022年8月14日